

関係各位

社会福祉法人明徳会

**【重要】**

**新型コロナウイルス感染症の対応について**

**1. 基本方針**

昨日の緊急事態宣言の解除を受け、当法人における新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の方針について概要をまとめましたのでご報告いたします。

当法人では、コロナウイルス感染症対応 BCP(事業継続計画)を策定し、感染予防や、最悪の事態を想定したマニュアル、今後通常の運営に戻るまでの過程などを定め災害発生時と同じ事態として捉え、現在 BCP を発動し法人全体で取り組んでおります。

基本的には、障がい者福祉施設として、国際的な基準によるスタンダードプリコーション(標準予防策)の徹底を図り、検温、健康観察や消毒などの強化をしています。

その他は、国及び厚労省の定める基本方針や通知等を厳守し監督官庁である熊本市と連携を図り取り組んでいるところです。

緊急事態宣言が解除されたことにより、これまで停止していたサービスや活動等の再開に向けて、徐々にですが確認をしながら新型コロナと共存する新しい生活様式も含め検討していきます。

しかしながら、ひとたび施設内に感染が広がると命の危険に迫る事には変わりありませんので、慎重に状況を見ながらの対応になります。

今の段階では、現状の当法人が行っている感染防止の対応方針を継続することとし、変更などがありましたら改めてご報告いたします。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**2. リスクについて**

原則として、ご利用者様と職員以外の立ち入りをご家族であっても禁止していますが、入所、通所を問わず施設内は十分な感染予防ができる環境ではありません。

送迎では同じ車内で移動など、入所では複数名での入浴など、それぞれの事業所でも多くの避けられないリスクがあります。そもそも、人が人を介助、支援するわけですので接触が生じることが前提となり、3密を避けることは難しいと考えます。

さらに、障がいの特性から、例えば換気の窓開けについてもすぐに閉めなければ情緒が乱れる方や、手洗いうがいが出来ない方もおられますので一般的な予防環境を整えることが難しい状況です。

施設内でこうした中、通常の業務に加え、送迎車内の毎日の消毒、施設内のオゾン水散布・

燻蒸など、様々な工夫や機器を駆使し環境を整える努力をしております。

新型コロナウイルスの特徴として、軽症や無症状の場合があったり、潜伏期間が14日程度と長いなど、開所しながら施設内に持ち込まないようにすることが大変難しいことも現状としてあります。

施設利用について、これらのリスクをご理解いただきますよう改めてお願いいたします。

### 3. 職員の配置、施設サービスについて

学校の休校や、風邪症状で万が一に備えての欠勤など職員配置は通常より少ない日が増えてきております。そのため、必要最低限のサービスに限らせて提供する場合があります。行事やレクリエーション、外出や個別活動を見合わせるが多くなってきております。今後徐々にですが、再開にむけて検討を進めていきます。

### 4. 職員について

新型コロナに対応し、家庭と職場の両立を図るために全職員が大変な状況であることに変わりありません。福祉に携わる者として自覚と誇りをもってみんな仕事にあたっています。こどもの学校休校特別有給、雇用調整助成金など国の制度を利用、休業手当10割支給や、見舞金の支給（一律1万円）、マスクの配布など、大変な状況でもなんとか勤務を継続できるように出来る限り柔軟にスピーディーに対応しています。施設職員もご利用者様同様、安全最優先でなければいけません。福祉社会を支えるためにみんな必死で頑張っております、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 5. 感染予防、防護物資、機器について

マスクについては、各職員が使い捨てマスクの再利用をしながら対応しています。本来の使い捨てとはまだまだいかない状況です。有事の際用のマスクについては2,000枚程度の備蓄があり、ゴーグルや仮防護服、感染者用体温計や酸素濃度測定器なども準備しています。消毒液については、3か月程度の備蓄がありますが使用量が増加しており更なる確保を検討しています。

オゾン発生装置の常時運転、オゾン水生成器でのオゾン水散布、非接触体温計、サーモカメラの配備、換気や消毒は各施設で定時に実施しております。

### 6. 福祉サービス提供者として

当法人では、様々な状況が想定され何が出来るかわかりませんが、可能な限りご利用者様とご家族に寄り添うことを忘れません。特に、入所されているご利用者様について、新型コロナウイルスに感染されたとしてもそれが理由でサービスを一律に拒否することはありません。当法人は、差別や偏見を許しません。通所入所問わずサービス提供やご不安な点については、様々な工夫や関係機関との連携を図り少しでもお役に立てるように対応させていただきます。